



EBK-ZRD

リモコン据付説明書

据付される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この据付説明書をよくお読みになって指定された据付けを行ってください。
- 本品を指定する機器にご使用ください。

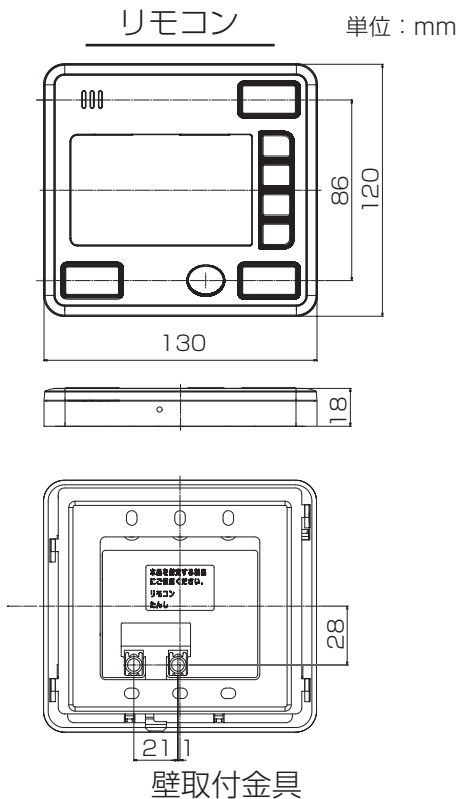
1 設置前の確認



- 機器本体からリモコンまでの接続線は 24V 以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備技術基準に合った電気工事で施工してください。
- リモコンコードは他の電気製品の電源コードと離して配線してください。洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機などの電源コードと近接・併走配線すると、機器が作動しないことがあります。また、テレビ・ラジオ・ステレオなどの電源コードと接近して配線すると、テレビなどの画像・音声にノイズ(雑音など)が入ることがあります。
- リモコンコードが余る場合は、機器の外にて処理してください。(機器の中へは絶対に押し込まないでください)
- リモコンコードを機器本体と接続するときは、必ず電源ブレーカを「切」にしてから行ってください。
- 下記の場所には取り付けしないでください。
 - ・ 温度が高くなる場所
 - ・ 湯気のかかる場所
 - ・ 直射日光のあたるところ
 - ・ 油のかかる場所
 - ・ 水しぶきのかかる場所

- 段差のある壁面(ケースが変形して不具合が発生することがあります)
- 特殊薬品を使用するところ(ベンジン・アルコール・油脂系の洗剤等)
- リモコンは、絶対に浴室内に設置しないでください。
- 壁面埋込配線の場合は、始めにリモコン取り付け壁面からリモコンコードが引き出されていることを確認してください。
- 音声スピーカが搭載されているリモコンに金属屑が付着すると音割れなどの原因になります。リモコンに金属屑などが付着しないように、壁に取付ける直前に包装材を外してください。
- リモコンを、無線子機を持つドアホンなど常時電波を発生する機器の近くに設置しないでください。
- リモコンコードは別売部品をご使用ください。
[リモコンコード型式：EBP-R10M または EBP-R20M (2 芯、線径：0.5mm²)]
- 機器本体に複数のリモコンは接続できません。
- 機器本体への取り付けはできません。

2 外形寸法図



3 付属部品

• 梱包内には下記の付属部品が入っています。据付けの前にご確認ください。

部 品 名	形 状	個 数	備 考
リモコン本体		1	
壁取付金具		1	(リモコン本体に取り付けてあります)
⊕皿木ねじ φ 3.8 × 20		2	
オールプラグ		2	
⊕皿小ねじ M4 × 20		2	スイッチボックス用
絶縁スリーブ付 Y 型端子		2	
閉端接続子		2	
据付説明書		1	(本書)

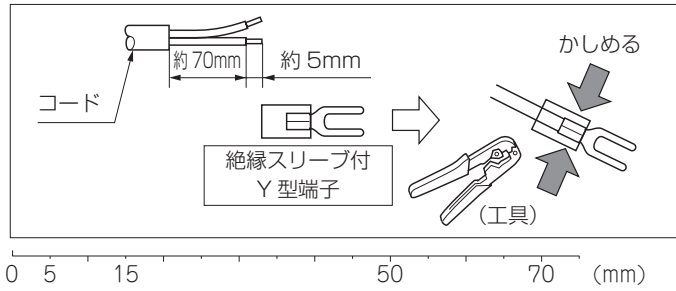
※リモコンの変形や取付け不良の原因となりますので、ねじ類は必ずリモコンに付属のものを使用してください。



4 リモコンの取り付け

リモコンコードへの Y 型端子接続方法

- 別売部品のリモコンコードを切って使用する場合、リモコンコードの被覆を約 70mm むいてから絶縁スリーブ付 Y 型端子をかしめてください。



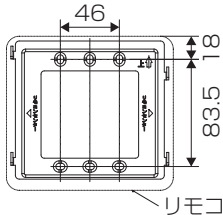
- かしめ後、コードをかるく引張って抜けないうかが確認してください。
- かしめは絶縁スリーブ付端子用の専用圧着工具をご使用ください。その他の工具を使うと接続不良の原因となります。

露出配線でリモコンを木壁面やコンクリート壁面に取り付ける場合

- 壁取付金具を壁面に付属の皿木ねじ ($\phi 3.8 \times 20$) にて固定してください。壁 (または壁の素地) がコンクリート・ブロックなどの場合はオールプラグ用穴 ($\phi 6$ 、深さ 25mm 以上) を 2 カ所あけ、オールプラグを打ち込んでから、付属の皿木ねじ ($\phi 3.8 \times 20$) にて固定してください。

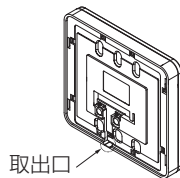
注) 木ねじを締め付けすぎると壁取付金具が変形するおそれがありますのでご注意ください。取り付け後は壁取付金具と壁にすき間がないことをご確認ください。

(単位: mm)

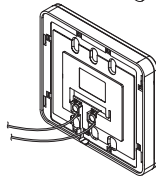


リモコン外形

- リモコン下部のコード取出口をラジオペンチなどで割り取ってください。

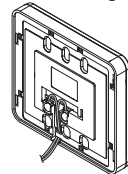


- リモコンコードの Y 型端子をリモコン裏面の端子に接続してください。

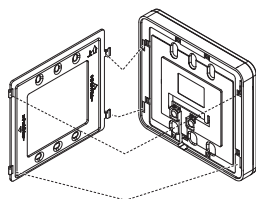


- リモコンコードをケースのツメにひっかけて固定してください。

※リモコンコードの外側の被覆が完全にケースから出ていることを確認してください。樹脂が変形し不具合が発生することがあります。



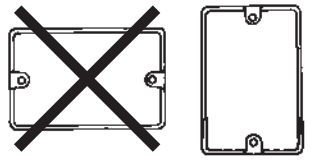
- 壁取付金具に上からスライドさせるようにリモコンを取り付けます。



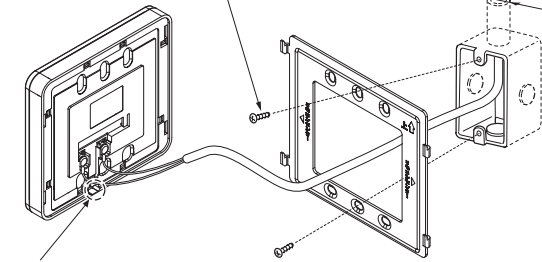
壁内埋込配線でリモコンをスイッチボックスに取り付ける場合

- スイッチボックスは JIS C 8340 の 1 個用スイッチボックス (カバー付き) ーコンクリート壁用または、1 個用スイッチボックス (カバーなし) ー木造真壁用をお使いください。
- スイッチボックスは縦向きに施工してください。横向きでは施工できません。

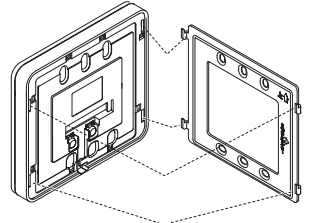
- リモコン取り付け壁面よりコードが引き出されていることを確認してください。
- 壁取付金具を付属の皿木ねじ ($M4 \times 20$) にて、スイッチボックスに取り付けてください。



皿木ねじ ($M4 \times 20$) PF 管 呼び $\phi 16$ 以上



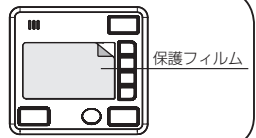
このツメは露出配線用です。スイッチボックスに取り付ける場合は、コードをひっかけないでください。露出配線以外でこのツメを使用すると不具合が発生することがあります。



- 壁取付金具に上からスライドさせるようにリモコンを取り付けます。



- 表示窓に貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。



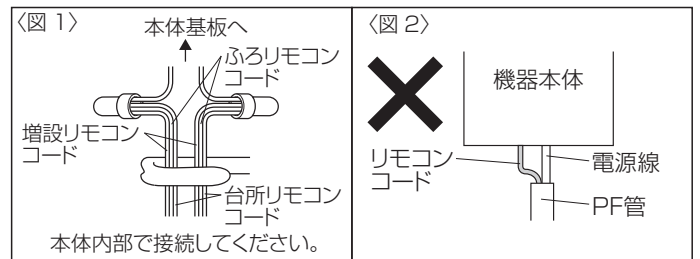
5 リモコンコードについて

リモコンコードと機器本体の接続

- リモコンの端子はどちらも無極性です。
- 前板を外す。
 - リモコンから機器本体までのリモコンコードを、PF 管 ($\phi 16$) に通す。
 - リモコンコード口にリモコンコードを通し、リモコンコードの芯線を閉端接続子で圧着し、リモコンコードを固定する。〈図 1〉

【お願い】

- リモコンコードは電源線と離して (5cm 以上) 配線してください。近いとノイズによる誤作動の原因となります。
- リモコンコードは、引張っても端子に直接張力がかからないように確実に固定してください。
- 電源とリモコンコードを同一パイプで配線しないでください。リモコンが誤動作する場合があります。〈図 2〉
- リモコンコードを閉端接続子に接続するときは、200V 電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。



- コードに Y 型端子をかしめる際、芯線のヒゲなどが出ていると、端子に接続したときヒゲがもう 1 本のコードと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に作動しないばかりでなく、機器本体の電装ユニットの故障にもつながりますので、芯線のヒゲには十分にご確認ください。

- コードは直接熱の影響を受けないところに配線してください。
- コードをコンクリートなどに埋め込む場合には、PF 管などに収めてコードに傷がつかないように保護してください。
- リモコンコードの長さは 20m 以内としてください。
- コード線径と PF 管の関係
コードを PF 管に入れて配線する場合は、コード仕上外径が、端子をコードにかしめる前と後では異なりますので注意してください。
リモコンコードの場合は PF 管呼び $\phi 16$ 以上をお使いください。